

情報提供日	令和3年(2021年)8月17日(火)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 在岡、濱谷 栽培・展示課 山本、信太 TEL 082-922-3600

江戸時代の園芸文化を今に伝える 変化朝顔展

1 目的

江戸時代の園芸文化を今に伝える「変化朝顔」を栽培し、貴重な遺伝資源を保全するとともに、展示に活用することで、市民への普及啓発を図ります。

2 日時

8月21日(土)～8月29日(日)まで(金曜休園)

3 協力

広島あさがお研究会

4 場所

広島市植物公園 展示温室

5 内容

当園では、昭和57年から「変化朝顔」の栽培・展示を継続しており、公的機関としては日本で一番長い栽培・展示の歴史があります。今年は約200点の「変化朝顔」を展示します。

- (1) 広島市民有志「広島あさがお研究会」の会員が交配育種して育てた変化朝顔の鉢や絵手紙などの作品を多数出品します。
- (2) 期間中の毎日10時～15時まで、「広島あさがお研究会」の会員による変化朝顔の紹介と種子などの販売を行います。

※チラシに記載されている「変化朝顔展解説」は「新型コロナウイルス感染拡大防止のための早期集中対策」のため中止となりました。

変化朝顔とは？

変化朝顔は、珍しいもの好きだった江戸時代の人たちが発展させた園芸植物です。

糸のような葉、多肉植物のような姿、撫子のような花、八重咲の花、一見アサガオに見えない珍しいものがあり、これらはみな突然変異によるものです。変異株は種子が採れないことが多く、系統維持をするには遺伝学的な知識がないと難しいのですが、驚くことに現在の様に遺伝学が発達していなかった江戸時代の人々は、長年の経験によって様々な変化朝顔を栽培し続けていました。



青縮緬切葉木立青紫筒白星台咲
(あおちりめんきれはこだちあおむらさきつつじろほしだいざき)



青桔梗斑入渦葉水色吹掛絞桔梗
咲八重(あおききょうふうりうずはみずいろふっかけしぼききょうざきやえ)



青桔梗斑入渦葉水色桔梗咲八重
(あおききょうふうりうずはみずいろききょうざきやえ)

※ アサガオは朝咲く植物につき、午前中の観賞をおすすめします。